

HARLEM

SPIT'EM OUT!

"it's absolutely raw"

- This paper gives y'all hip hop headz the real words from the real actors -

01

MONTHLY NEWS PAPER
January 2007
Volume 88 Issue 113

feature interview

DJ SAFARI

もはや、現場支持率NO.1の地位を確立した、と言っても過言ではないDJ SAFARI。今年には念願の帯獲りに挑むという。

■2006年はDJ SAFARIにとってどんな年でしたか？

前回のHARLEM新聞のインタビューの時は、まだ「これは誰もやらないけど、オレこんなことやれるんだぜ」っていうのを全面に打ち出した時期だったんですよ。それが、うまいこと当たってくれたことが多かったんで、2006年はそれを、もっと「こうしたらお客さんにうまく伝わる」とか「こういう流れでやれば、皆がかけないような曲も受け入れられる」とかまでを考えてやれたと思うんですよ。それなりに手応えも感じられたと思うし、「SAFARIってこういう感じ」というのを、前よりもお客さんに聴かせられていると思うし。お客さんからのリアクションもよくて、プレイが終わった後に「あれ、良かったです」って言ってもらえるのが、オレが狙ってやってた部分だったりもして。そういう状況だったから「ここをもっとこうしちゃおう」ってどんどんやれていけたんで、かなりプラスな一年だったと思います。

■クラブプレイで意識していることは？

4つ打ちやロックとかすっごい流行ってるポップスなんか結構かけてたんですけど、CMとかでよく流れてるような皆が知っている曲をうまく交ぜて、騙し騙しとは言わないけど「あ、これ知ってる」って食いついてきてくれるようにしてましたね。普段そういう曲を聴かない人でも、テレビで流れてる曲って耳に残ってるから。そういうところで、お客さんに少し寄って来てもらって、その延長で普段はかからないような曲をかけていこうというところまで考えてやってましたね。そうやって意識してやってたから、うまくいったんじゃないかなと思ってます。

■どんな時に「この曲は使えるな」というヒラメキがあるんですか？

個人的な事なんですけど、去年引越したんですよ。前は渋谷からタクシーで5分くらいの所に住んでたのが、今はちょっと離れて車で30分位かかるところに引越したんですよ。往復で1時間ある中で聴いている音楽が、いつもだった引っかかってこないような曲でも、今はすっごく自分の耳に引っかかってきて、「CD聴くのも飽きたからラジオを聴こうって」たまたま聴いたラジオからたまたま流れてきた曲がすっごく良くて、調べてみたらすっごくヒットしてる曲だったりして。そういうヒットしてる曲の中でも、「これはクラブでかけられそう」って自分なりに判断して、いろいろやってたんですよ。だから、住む環境が変わって、自分にすっごくプラスになりました。あとは、引越してレコードを整理した時に、「あ、こんな曲もあったな」とか「かけたかったけど見つかなかったらこんなところにあったんだ」っていうのがいっぱい出てきて、それで自分のレコードバッグの中身が変わりましたね。それが更にプレイにも反映されて、プラスの方向に進んだのかなと。

■“NO DOUBT” に関しては？

前は早い時間をプレイする事が多かったんですけど、去年はいろんな時間をやれるようになって、これは最近感じた事なんですけど、TAIKIさんとかHAZIMEくんはちょっとお膳立して

くれてるんじゃないかなと。「今日はSAFARIはこの時間帯だから」って考えてくれて、メインの時間帯だったらそれまではいい曲をとっておいてくれたり、オレがかけそうな曲ははずしておいてくれたり。二人がそういう風になってるから、オレが好き勝手やれてるのかなってすっごく思って。オレがやり過ぎちゃった時なんかも、その後しっかりフォローしてくれるし。だから、2007年は、もっと自然にとけ込まないといけないかなって思ってます。“NO DOUBT”には元々あの二人の流れがあって、オレはそこに違う流れを少し入れられたと思うんですけど、オレがやっていることはマイナスにはなってないと思うんで、今年はそれがもっと自然にできるようにしたいですね。

■自身のホームページも開設しましたか？

NYに遊びに行く時に、向こうのパーティーの状況が全くわからないから、よくwebで調べるんですよ。好きなDJの名前を入れて検索するんですけど、DJ自身のサイトがすっごくしっかりしてて。パーティーの情報がいっぱい載っているサイトもあれば、DJ個人のサイトではスケジュールがびっしり載っていて、いつどこでプレイするかがすぐにわかるし、それが当たり前になっていて。でも、考えてみると日本では意外とそういうサイトがないなって思って。

地方に行った時なんかも、よく「東京ではどのクラブでプレイしてるんですか？」とか「今度東京に行くんですけど、どこかでプレイしますか？」って聞かれることがあるんで、向こうみたいなサイトがあれば、もっと手軽に情報がわかるのかなって思ってたんですよ。それで実験的に作ってみたら、意外と評判が良くて。まだ全部のコンテンツが開ききってないんで、今度は「あのコンテンツはいつから始まるんですか？」って聞かれるようになって。だから、一回閉めて完璧な状態にしてから、春くらいにリニューアルオープンしようと思ってます。

■プライベートでは？

テレビを見てても、車に乗ってても、自分の耳に入ってくる音楽を、常に「これ使えないかな」って考えてますね。後、最近サーフィンを始めたんですけど、街にいる時と海にいる時でいいなって思う音楽が違うんですよ。それで、今まで全く聴かなかったようなジャンルに興味を持ちたりもして。サーフィンと言っても、まだ全然巧くないんで、波に乗ってるよりもぼーっと波を待ってる時間の方が長いんですけど、そんな時に自分の頭の中で流れてる曲が意外な曲だったりして、「あ、これも使えるな」って思うことも多いんですよ。今は、仕事以外のところではすっごくリラックスしていて、オンとオフの切り替えがちゃんとできてるんで、いいバランスを保ってると思いますね。

■地方に行くことも多いと思いますが？

ホントに、全国津々浦々呼んでもらってます。北海道から九州まで、今まで行ったことがないような地方にも行かせてもらってるし。中でも九州はすっごく好きですね。すっごくノリもいいし。あとは、個人的に名古屋も好きなんですけど、最近はどこに行っても全体的にレベルアップしてますよね。オレが最初に地方に行った頃に比



べたら、お客さんの曲を知ってる度合いが格段に上がってるし。今年も色々な所に行きたいのでこれを読んでる全国のプロモーターさん、是非呼んでください！

■今年の目標は？

今のスタンスを保ちつつ、去年やれなかった大きな仕事もしてみたいですね。オフィシャルのMIX CDもやりたいし、クラブプレイ以外では企業系のパーティーなんかでもプレイしてみたいですね。そういう大きいパーティーでプレイできるようになると、お客さんの層も広がると思うし。何をすればそういうパーティーでまわせるようになるのかは良くわからないから、試行錯誤しながら頑張っていこうかなと思ってます。ただ、あまり欲張り過ぎずに、今のスタンスを崩さない程度にやっていけたらなと。あとは、最近、制作に関する問い合わせもちょこちょこ頂んですけど、まだDJに集中する時期なんじゃないかなって思って。できた方が有利なんだろうなっていうのは、この一年で思うようにはなってらなくて、自分の中の区切りのはまだだらうって思って。あと何年経って、ある程度自分の中で区切りがいたら、並行してやっていくかもしれないって感じですかね。

■HARLEMは今年で10周年ですが、10年前は？

10年前なんて、オレはターンテーブルを買って家で一人で練習してた頃なんで、普通にお客さんとして遊びに来てましたよ。HARLEMができた時は衝撃的だったんですけど、周りから「すげーデカイよ」としか聞いてなくて、それまでは小さいクラブしかなかったからデカイとはビビって行けないな一って思って、オープンしてからしばらくは来たことがなかったんですよ。初めて来た時は、中2階からフロア見ながら「なんだこれー、スゲーなー」って思ってたね。そんなオレが今はHARLEMでまわしてるわけだから、今DJを目指してる人にも諦めないで続けて欲しいですよ。

最近DJを始めるのも低年齢化してると思うんですけど、若いうちに諦めてやめちゃう人も多いと思うんですよ。実際にDJだけで食って

行くのは難しいことだとは思いますが、DJを完全にやめなくてもいいんじゃないかなって思って。時間がある時にやれるイベントをやっていくのもいいと思うし。本当にDJでやっていきたいと思ってるなら、年齢を考えずにやり続けたいんじゃないかなって思って。オレも途中で壁にぶち当たったこともあって、前回のインタビューでも言ったけど「どうせDJをやめるならやめる前に自分の好きなことを全部やってからにしよう」って好きなことをやったら意外と受け入れられちゃったし(笑)。若い子と話していると「オレはこういうのをやりたいけど、やったらお客さんが引いちゃいそうじゃないですか」って聞かれるんですよ。でも、場数を踏まないとなかなかその一歩を踏み出せないと思うし、いかに早くその一歩を踏み出すかだと思うんですよ。それが早ければ早い方が、「これがダメなら今度はこう」って決められるじゃないですか。

オレが今思うのは、もっと若いうちから自分が思ったこととかやりたかったことをやっていけば、今とはまた違ってたんだらうなって。だから、一歩踏み出す度胸を持ってやって欲しいですよ。若いうちなんて、引かせようがやらさそうが、いくらでもまたチャンスはあるわけだし、「すみません」ってテキトーでも飲んでおけば、人は自分が思っている程は気にしないじゃないですか。ずっとやら続けたいのはアウトだけど、一回や二回はいいんじゃないですかね。

■読者にメッセージを。

去年1年やってみて良かったところはたくさんあるけど、「もっとこうやれる」って自分の中で見えてるものがあるんで、今年はその実行に移そうって思ってます。HARLEMの10周年を区切りに、毎週帯でプレイできるようにもなりたいと思ってたんで、まだまだ頑張ります。